



## 間伐材を利用した木工製品を開発

木の表面を樹脂コーティングして一体化させ、表面の硬化処理を施す技術を用い、間伐材を利用して公共の場で使われる製品を開発生産している。

### 業況等の動向について

#### 本業の動向について

創業時より婚礼筆筒や住宅内装部材製造を手掛けて来ているが、生活様式も大きく変化しており市場の求める物も変わってきている。そのため元来の製品だけでは事業として成り立たなくなるのではないかと、との危機感を持っている。

#### 異業種に参入事業の概要

天然液化ガス輸送船の外壁とタンクの間に木製の箱を密に敷き詰めて断熱効果を高めるための、木製の箱の製造を行っていた。また、木材の湾曲、曲線仕上げと立体の組み合わせなどの技術を駆使して、カー用品店においてオーディオデモブースの製作も行っていた。しかし造船の絶対数が減少してしまい計算の出来る事業としては成り立たなくなってしまい撤退を余儀なくされた。カーオーディオのデモブースに関しても、若者の車離れによる需要の低迷などにより撤退している。現在は間伐材を利用した机の天板やカウンターに樹脂コーティングを施し、硬化・一体化させた製品を製造している。島根県は全国一の森林面積率を誇り間伐材の利用促進を図っているため、県の補助を受け主に公共の場で利用される製品を中心に製造しており、売上高は約 20,000 千円となっている。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

既存事業だけでは事業として成り立たなくなってしまうことが予測されていたところ、間伐材の利用が広く問題視されるようになった。当然、島根県全体が間伐材の利用方法を考えなければならない状況に置かれ、様々な調査をしたところ、木製で修復作業が要求されている物が多くあることを知り間伐材利用と結びついた。

#### マーケティングについて

展示会にも積極的に参加しており、新たに提案したい製品を持ち込み、来場される方々の反応や意見を頂戴して事業化が可能かどうかを判断している。現時点で最新の間伐材を利用した製品は筆の軸で、輸入品が 99%を占めているため地元産の物を作り始めている。広島県での展示会では別の製品の製造依頼もいただけるなど、需要の確認はできた。

#### 参入して最も成果のあったこと

一般市場向けのものを作ると、従業員が生活の中で接する機会も生まれるので、仕事に対する意識がよい方へ変化する。また、会社のイメージアップにも繋がっていると思う。開発費などは 3,000 千円ほど出ているが、機械設備などは全て既存の物を利用できている。開発費の負担と販路の開拓は製造に特化した中小企業にとっては苦手な点だと思う。

#### 参入に際して活用した自社の技術・ノウハウについて

木の表面を樹脂コーティングして一体化させ、表面の硬化処理を施す技術。

#### メリット・デメリット

メリットは新開発した物であれば他社と競合しないため、市場を確保できることである。デメリットは投資したものが回収できるかどうかかわからずリスクを伴う点である。

#### 異業種参入時のアドバイス

新たに取引を始める場合には、十分な与信管理の必要がある。

### 行政への要望について

#### 異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

以下の制度を利用した。  
平成 23 年森林整備加速化事業  
林業再生事業費補助金

#### 異業種参入に際し、行政に対して望む支援

以下の 3 点についてお願いしたい。  
製品 PR の補助。  
他の業種とのマッチングの場の提供。  
販路開拓などの手助け。

#### 会社概要

設立: 2008 年 9 月(平成 20 年 9 月)

資本金: 3,315 万円

従業員数: 74 名

URL: <http://www.kyowa-corporation.jp/>